

令和5年11月時点

1. 工事工程

- ・各駅で自動改札機等の動作確認が完了。

2. 監査・検査

- ・試験はスケジュール通りに進捗している。
- ・列車制御に関する信号確認試験は10月30日に完了。

11月1日より速度向上試験を行い、11月24日に営業の最高速度である260km/h運転で問題なく走行できることを確認した。

現在は総合コントロールラン試験※を実施中。

※総合コントロールラン試験：実際の営業運転を模擬した試験。

3. 事業費

- ・事業費総額は、認可の範囲内である。

4. その他

- ・加賀トンネルについては、経過観察で隆起傾向の連続性は確認されていないことから、10月25日に開催された有識者からなるトンネル施工技術特別委員会にて追加対策工は不要との結論を得た。

速度向上試験において最高速度260km/hで走行しました！

9月23日より、土木構造物・軌道・電車線・信号設備等の機能確認を目的として、新幹線車両を使用した走行試験を実施しておりますが、11月24日に営業の最高速度である260km/h運転で問題なく走行できることを確認しました。



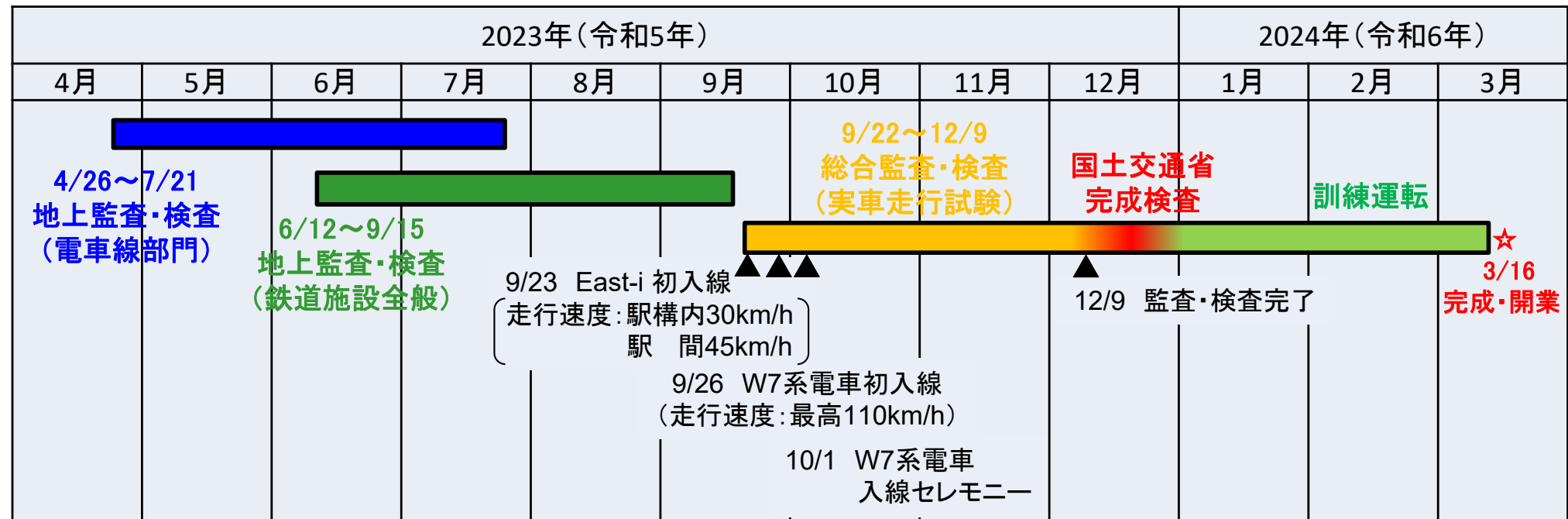
走行中の車内の様子



芦原温泉駅通過中の様子

北陸新幹線(金沢・敦賀間)完成・開業までのスケジュール

完成・開業までのスケジュール



■工事しゅん功監査(機構実施)・設備検査(JR西日本実施):

設備のできばえ、整備状態、各種基準との照合等について確認する。

- 地上監査・検査 : 実車走行前に行う鉄道施設の確認
- 総合監査・総合検査 : 実車を使用した試験

※以下はJR西日本主体で実施する項目

■完成検査 : 国土交通省が鉄道事業者(JR西日本)に対して実施する検査
(変電所等の電気設備については、上記日程とは別に実施)

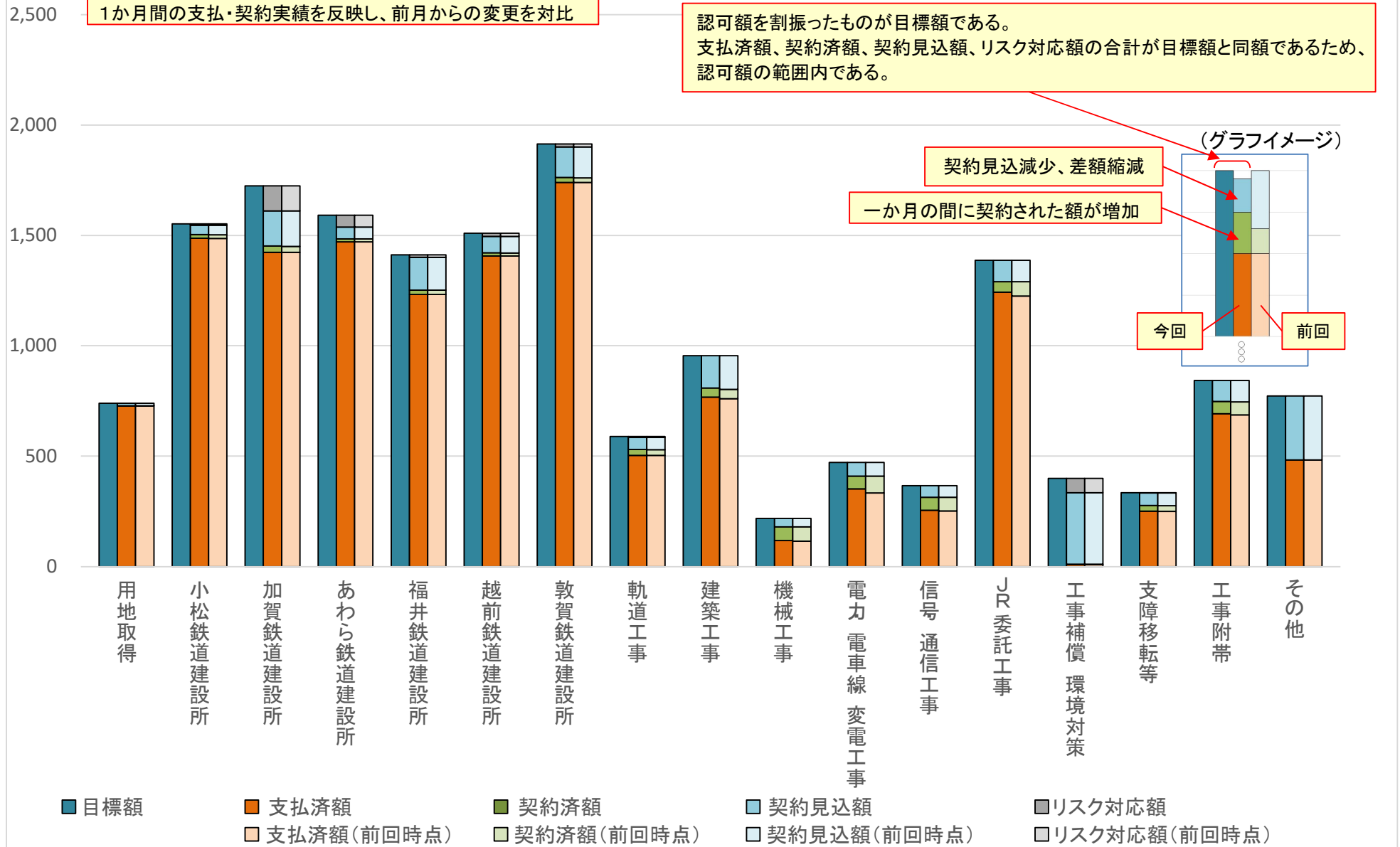
■訓練運転 : JR西日本が乗務員習熟等のために実施する試運転

■実車走行試験スケジュール

試験項目	期間
入線架線試験	9月23日~9月29日
ホーム測定試験	10月2日~10月4日
ATC現示試験	10月7日~10月30日
列車無線試験	10月23日~10月24日
速度向上試験	11月1日~11月24日
総合コントロールラン試験	11月30日~実施中
軌道検測	今後実施予定

北陸新幹線 金沢・敦賀間 事業費総額の状況 (R5.10月末時点)

億円



リスク管理表

	リスク	発現しているリスク	対応状況
工 事	気象変化、自然災害、他地域における自然災害への対応	—	—
	予期せぬ地質条件変化への対応	加賀トンネルの対策工実施箇所の経過観察	・加賀トンネル盤ぶくれ対策について、トンネル全線で経過観察を実施している。 ・令和3年11月に計測を整理した結果、現時点では追加の対策は不要であり、軌道工事に着手しても問題ないと判断した。 ・令和3年10月29日の計測時に、2箇所で1mm未満の新規クラックが確認された。当該箇所は、水準測量等の計測結果から現時点で明確な隆起が見られていないため、軌道工事を継続することに影響はない。 ・経過観察で隆起傾向の連続性は確認されていないことから、令和5年10月25日に開催された有識者からなるトンネル施工技術特別委員会にて追加対策工は不要との結論を得た。
	物価上昇への対応	—	—
	作業員・資機材不足への対応	—	—
	新型コロナへの対応	—	—（※）
	法令変更への対応	—	—
	関係機関への対応	—	—
	施工計画変更への対応	—	—
	労働災害に関する対応	—	—
	公衆災害に関する対応	—	—
	トラブルに関する対応	—	—
	その他リスク要因となり得る懸念事項	—	—

※新型コロナへの対応については、R5.5.8付で感染症法上の分類が「5 類」に引き下げられたことから、工程へのリスクが発現した場合の報告に変更。

現在も継続して対応しているリスク及び令和5年10月以降に発現したリスクを記載

：前回までの報告内容